

自治医科大学附属病院に 周術期センターが開設しました！

自治医科大学附属病院では、手術を受ける患者さんがより安心して手術を受け、円滑に日常生活を取り戻せるよう、このたび周術期センターを開設し、令和6年9月17日から周術期外来を開始しました。

手術イベントは、望む、望まないに関わらず、自分の体力や回復力が試される場でもあります。周術期センターでは、手術を行う医師だけではなく、余病に関わる外来診療部門、麻酔部門、看護部門、薬剤部門、口腔ケア、栄養、リハビリなどの多職種がチームで協力しあい、手術に臨む患者さんの栄養や体力・筋力・全身状態を改善し、体調を整え、最良の状態です手術を迎え、順調な回復過程を経て退院してもらうことを目指しています。「周術期」という言葉は、耳慣れない方も多いと思いますが、手術前から手術後の一連の期間のことをいいます。手術を安全に受けるためには、周術期のさまざまなリスク(体力や喫煙・飲酒習慣、口の中の衛生状態、栄養状態や飲んでいるお薬、不安など)への対応が必要です。一見そんなことと思うかもしれませんが、これらのリスクは手術そのもののや、その後の回復に大きく影響します。

周術期外来でのサポート体制



受付



各部門の役割

麻酔部門

患者情報をもとにした手術リスク判定と主治医との連携による手術準備

看護部門

- ・手術室看護師：手術を受ける患者の術前からのケアと指導および手術に対する不安軽減
- ・外来看護師：入院や手術の準備物品などの説明支援

薬剤部門

常用薬(市販薬を含む)やサプリメントの服用状況確認や休薬指導

栄養部門

手術に適した栄養状態で手術を迎えるための術前の栄養状態評価と栄養指導

口腔ケア(歯科口腔外科医、歯科衛生士)

口腔内細菌が原因となる手術後合併症(誤嚥性肺炎など)の予防や入院中の口腔内トラブル(歯の脱落・破折)予防のための、動揺歯の有無確認やセルフケア指導・専門的口腔ケアの実施

リハビリ(理学療法士)

手術に適した体力の維持向上のための体力測定や運動・呼吸訓練の指導



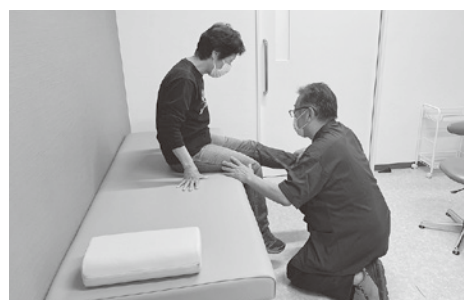
麻酔科診察



手術室看護師



歯科



リハビリ